

| 重点取組分野 | 平成28年度 | | 総括 | 重点取組分野 | 平成29年度 | | 総括 | 重点取組分野 | 平成30年度 | | 総括 |
|----------------|---|--|----|----------------|--|--|----|----------------|---|--------|----|
| | 具体的取組 | 自己評価結果 | | | 具体的取組 | 自己評価結果 | | | 具体的取組 | 自己評価結果 | |
| 確かな学力 | ○子どもの「わかる・できる」を大切にしたい必要感のある課題の設定・指導と評価の一体化を図った授業改善を算数科・社会科・体育科で授業を通して研究します。 ○体験的な活動を取り入れ子どもが意欲的に学習に取り組めるようにします。 ○ユニバーサルデザインを取り入れた安心して取り組むための学習環境を整えます。 | ○子どもの「わかる・できる」を大切にしたい必要感のある課題設定・指導と評価の一体化を図った授業改善を算数・社会・体育の授業を通して実践ができた。 ○大幅な教職員の入れ替えにより、ユニバーサルデザインを取り入れた授業の徹底が不十分なところもあった。 | B | 確かな学力 | ○子どもの「わかる・できる」を大切にしたい必要感のある課題設定・指導と評価の一体化を図った授業改善を総合・国語・音楽の授業を通して研究します。 ○ユニバーサルデザインを校内研修を実施することを通して全教職員で理解し学習の充実を図ります。 ○外部力の活用による放課後学習広場の実施による確かな学力の定着を図ります。 | ○子どもの「わかる・できる」を大切にしたい必要感のある課題設定・指導と評価の一体化を図った授業改善を総合・国語・音楽の授業を通して研究できた。 ○ユニバーサルデザインを全教職員で理解し学習の充実を図ることができた。 ○外部力の協力による学習広場3年・4年実施による学力の定着を図った。 | B | 確かな学力 | ○子どもの「わかる・できる」を大切にしたい必要感のある課題設定と学びが深まるような場の設定を行って生活・総合の授業を通して研究を行う。とくに学びをつなげるため実生活や地域の材とのつながりを意識して体験からの気づきを大切に学びが深まるようにしていく。○外部教育力の活用を行い3・4・5年で学習広場を実施し確かな学力の定着を図る。 | | |
| 豊かな心 | ○道徳の時間や各教科の様々な教育活動全般を通して、子どもの体験的な学びを推進し、子どもの自尊感情を高めます。 ○ペア学年の異学年交流を実施し、自他ともに大切に人権感覚を育成します。 | ○道徳の時間や各教科の様々な教育活動全般を通して、子どもの体験的な学びを取り入れたが、子どもの自尊感情育成にはまだ課題がある。 ○ペア学年について異学年の交流を通して、お互いに自他ともに大切に人権感覚を育成できたが、さらに交流で育てる力を明確にして計画的に取り組む必要がある。 | B | 豊かな心 | ○道徳の時間の充実を図り、各教科の様々な教育活動全般を通して、子どもの体験的な学びを推進します。 ○ペア学年の交流を実施し、自他共に大切に人権感覚を育成します。 ○「あいさつ」が進んでできるよう取り組みます。 | ○道徳の時間の充実を図り、各教科の様々な教育活動全般を通して、子どもの体験的な学びを推進できた。 ○ペア学年の交流の活動が定着させられた。 ○「あいさつ」が進んでできるよう取り組んだが方法の改善が必要である。 | B | 豊かな心 | ○道徳の時間の充実とともに、各教科との関連も意識して関連付けて指導ができるように取り組む。○ペア学年の交流が一層盛んになるように教室配置を隣接させたり、活動や交流を増やして相手を思いやる心を育てる。○学年に応じた具体的な目標を設定し、「あいさつ」がさかんになるように取り組む。 | | |
| 健やかな体 | ○体力テストの結果をもとに体力向上1校1実践を進めます。 ○基本的な生活習慣の定着を図るために、学校保健委員会と運動してよりよい生活習慣の意識づけを行います。 | ○体力テストの結果をもとに体力向上を図るために縄跳び集会の実施をはじめとして運動の日常化に取り組んだ。 ○基本的な生活習慣の定着を図るために、よい姿勢であったり健康的な生活について学校保健委員会と運動してよりよい生活習慣の意識づけを行った。 | B | 健やかな体 | ○体力テストの結果を分析し日常の体育学習に生かします。 ○学校保健委員会で、基本的な生活習慣の実態を把握し話合うことで、よりよい生活習慣への意欲を高め実践に繋がります。 | ○体力テストの結果を分析し日常の体育に部分的に反映できた。 ○学校保健委員会で、基本的な生活習慣の実態を把握し話合うことで、よりよい生活習慣への意欲を高めることができた。 | B | 健やかな体 | ○体力テストの結果を小中併設のカリ作成に生かしていく。 ○学校保健委員会の活動がより活発になるように体育協会などの協力を得て実施する。 ○健康や体力づくりなどをESDの視点からSDGsを全教職員で意識して実施する。 | | |
| 児童生徒指導 | ○羽沢小学校スタンダードの共通理解のもと、全教職員が羽沢小学校の全員の担任であるという意識をもち、チーム支援で児童指導にあたります。 ○YPの実施、YPの検討会から学級の実態にあわせた横浜プログラムの実施を計画的に実施します。 | ○羽沢スタンダードをベースにして、全教職員が全員の担任であるという意識をもちオール羽沢で児童指導にあたるようになった。 ○既存の学年会組織を生かしながら階層的なチーム支援を実現できるよう努力した。定着にはまだ時間がかかると考えられる。 ○YPアセスメントによる児童理解を学級経 | B | 児童生徒指導 | ○羽沢スタンダードの見直しを行いより羽沢にあったスタンダードに改善していきます。 ○全教職員が羽沢小の児童の担任であるという意識をもち、児童支援専任を組織に取り込んだ、校内体制を整備します。 ○YPを実施し、実態にあった横浜プログラムを実施します。 | ○より現在の羽沢にあったスタンダードに改善することができた。 ○児童支援専任を組織に取り込んだ、専任・ミニ専任の校内体制を整備できた。 ○YPを年2回実施し、実態にあった横浜プログラムを実施できた。 | A | 児童生徒指導 | ○児童の安心・安全な学校生活のために、児童支援専任を組織に位置づけ、今年も教職員の共通理解を図り、迅速かつ正確な初期対応や情報の共有に努めていく。 ○「スタンダード」を基盤として未然防止に努めていく。 ○YPを活用し社会的プログラムを実施する。 | | |
| 特別支援 | ○特別支援教室(パワーアップルーム)を活用し個に応じた指導を行っています。 ○より効果的な指導を行えるよう外部機関との連携を図り、教職員の特別支援教育に対する理解と指導力が高まるようにしていきます。 | ○特別支援教室(パワーアップルーム)を活用し支援の必要な子どもの自己肯定感を高められた。 ○児童支援専任と特別支援教室との連携を図り、支援の必要な児童にあった支援をおこなうことができた。 | B | 特別支援教育 | ○特別支援教室(パワーアップルーム)を活用し、支援の必要な児童の支援を行います。 ○校内の特別支援コーディネーターの連携を図り、ユニバーサルデザインの定着と特別支援教育の充実に取り組みます。 | ○特別支援教室(パワーアップルーム)を活用し、支援の必要な児童の支援を実施できた。 ○特別支援教育と児童指導の充実に取り組んだ。 | A | 特別支援教育と人権教育 | ○特別支援教育(パワーアップルーム)の継続に加えて、特別支援の視点の研修も実施していく。 ○誰もが安心して学べるように、学級目標にも人権の視点を入れて全校で取り組んでいく。 | | |
| 地域連携 | ○羽沢で育つ子どもが学校の特色ある単元を学べるよう、昨年までの実践に加えて地域の特性や人材を生かした教材開発を行い蓄積していきます。 ○地域コーディネーターを中心に、地域協力者をさらに学校に取り入れ、学校教育が活性化するようにしていきます。 | ○羽沢で育つ子どもが学校の特色ある単元をまなべるようにESDの視点も入れながら地域教材や人材の開発を行っていくところはまだまだこれからである。 ○地域コーディネーターを活用し放課後学習支援教室を立ち上げ一定の効果があった。 | B | 地域連携・キャリア教育 | ○羽沢で育つ子どもが、学校の特色ある学習ができるように、地域のゲストティーチャーをいれた総合学習を展開していきます。 ○地域の人々の教育的資源を生かしてキャリア教育やESDの視点を授業に取り入れながら授業を進めます。 | ○羽沢で育つ子どもが、学校の特色ある学習ができるように、地域のゲストティーチャーをいれた総合学習を展開することができた。 ○地域の人々の教育的資源を生かしてキャリア教育やESDの視点を授業に取り入れながら授業を進められた。 | A | 地域連携・キャリア教育 | ○羽沢で育つ子どもが、地域の大人の働く姿から学んだり、生き方を考えたりすることができるように、一層地域のゲストティーチャーを活用するようにする。 ○地域材を生活や「横浜の時間」に取り入れSDGsを意識してESDの授業を進めていく。 | | |
| キャリア教育 | ○地域の素材や資源を生かした「横浜の時間」の単元開発を行います。 ○キャリア教育の視点を授業に入れながら研究を進め、教職員のキャリア教育に対する意識を高めます。 | ○地域の素材や資源を生かしESDの視点も取り込んだ「横浜の時間」の単元開発や実践はまだこれからである。 ○キャリア教育の視点を授業に取り入れながら研究を進められた。 | B | いじめへの対応 | ○全教職員でいじめは決して許さないという共通理解のもと、指導に取組み校内児童支援体制を整えます。○日頃から学校は、保護者と児童を両輪となって育てるという意識をもって信頼関係を築けるように学級懇談会や個人面談を有効に活用します。 | ○全教職員でいじめは決して許さないという共通理解のもと、指導に取り組むことができた。○保護者と児童を両輪となって育てるという意識で学級懇談会や個人面談を活用できた。 | B | いじめへの対応 | ○全教職員で決していじめは許さないという意識をもち、学年で、また専任をいれたチームで迅速に対応していく。 ○保護者と日頃から信頼関係を丁寧に築きながら、懇談会や面談を有効に活用していく。 | | |
| 人材育成・組織運営 | ○メンター研の活性化、またミドル層の他校への短時間で授業見学の「羽沢見聞録」の実施、さらにメンターへの主幹層の指導者としての参加、ミドル層への児童支援専任が中心になっておこなう危機管理研修の実施等、各々のキャリアの教員に自分が学校を運営しているという意識を育てます。 | ○教員の経験に応じた他校への授業見学を実施した。 ○学校内の組織有効活用するために、児童支援専任と学年主任の連携を深めた。一人ひとりの良さを生かす組織づくりや業務分担をしながら教職員の参画意識を高めた。 | B | 人材育成・組織運営 | ○メンター・ミドル・ベテラン層の「上を見て学ぶ」「下から学ぶ」意識を大切にOJTの人材育成を実施します。 ○各ステージの教員の参画意識を高める、見通しをもてる組織に改善します。 | ○メンター・ミドル・ベテラン層の「上を見て学ぶ」「下から学ぶ」意識を大切にOJTの人材育成に取り組めた。 ○各ステージの教員の参画意識を高める、見通しをもてる会議を設定できた。 | B | 人材育成・組織運営 | ○メンターの講師にミドル層や主幹を活用し、組織を運動して活性化する取組をおこなう。 ○ミドル層に学校の業務改善の起案をしてもらうことにより学校参画意識を高める。 | | |
| ブロック内相互評価後の気付き | ○落ち着いた雰囲気や学級が多く、話しがよく聞けている。○教室前面の掲示物をなくしたり、板書にもルールがあったりするなど羽沢小学校(菅田中ブロック)スタンダードが共通理解されている。○学習では、子どもの実態に合わせて、授業準備や発問の工夫がされている。○休み時間も含めて、子どもが落ち着いた行動をとっていると感じられる。 | | | ブロック内相互評価後の気付き | ○落ち着いた雰囲気や学級が多く、話しがよく聞けている。○板書にもルールがあったりするなど羽沢小学校(菅田中ブロック)スタンダードが共通理解され指導の徹底をすることができた。○学習では、子どもの実態に合わせて、授業準備や発問の工夫がされている。 | | | ブロック内相互評価後の気付き | | | |
| 学校関係者評価 | ○自発的なあいさつに関しては、もう少しの印象はあるが、やさしい言動は感じられ、職員からもよいところを認めようとする雰囲気を感じられる。○学級によるところはありますが、子どもたち自ら授業を進めていこうとする雰囲気を感じられた。○学級によるところはありますが、子どもたち自ら授業を進めていこうとする様子が見られ、子どもたちが関わり合う場を設定しようとする工夫が見られる。 | | | 学校関係者評価 | ○地域でも自発的なあいさつはあるものの個人差がある。より地域と関わりながら子どもを育てていって欲しい。○学級によるところはありますが、授業でも職員からもあたたかい雰囲気を感じられるのでよい。子どもたちの主体的な考えを引き出そうとする先生の姿勢が感じられ、子どもたちが関わり合う場を設定しようとする工夫が見られる。 | | | 学校関係者評価 | | | |
| 学校経営中期取組目標振り返り | ○ユニバーサルデザインを取り入れた取り組みや、羽沢小スタンダードの共通理解により、児童が安心して過ごせる落ち着いた学校生活をおくれている。児童に他を思いやる気持ちも育てているが、積極的に自信を持って取り組むことに関しては今後の課題である。そのためさらに自尊感情が育つよう道徳教育の充実やペア学年の活性化を図る。○子どもたちが自ら授業を進めていこうとする様子が見られ、今後さらに教師の指導力の向上をめざし、授業改善を続けていく。とくにESDの視点を取り入れた「横浜の時間」の単元開発に取り組む。○教職員の参画意識が高まる。人材育成・組織 | | | 学校経営中期取組目標振り返り | ○菅田小中併設による「スタンダード」の共通理解と児童支援専任を組織に生かした取り組みから、校内の教職員の意識の共有、迅速な対応の力は高まってきていると考える。今後もこの取り組みを続けていく。○本年度はESDの視点を生活科、総合の学習、国語、音楽などに取り組み研究に取り組んだ。次年度も継続し、授業改善をしていく。 | | | 学校経営中期取組目標振り返り | | | |

